

エコアクション21  
**環境活動レポート**  
2024年度

(対象期間：2024年2月1日～2025年1月31日)



有限会社 協伸製作所

作成年月日：2025年4月20日

# 目 次

		[項]
1. 組織の概要	・・・	P 1
2. 実施体制	・・・	P 1
3. 環境方針	・・・	P 2
4. 1) 環境経営目標とその実績	・・・	P 3
2) 環境目標の達成状況と評価	・・・	P 4
3) 次年度の目標	・・・	P 5
5. 環境活動計画及び評価結果	・・・	P 6
6. 環境関連法規への対応	・・・	P 7
7. 緊急事態の想定及び対応策	・・・	P 8
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	・・・	P 9

## 【その他添付資料】

- ごみ分別集計表
- ハザードマップ
- 当社の取り組み
- コミュニケーションノート

## 1. 組織の概要

- 1) 事業所名 有限会社協伸製作所  
2) 代表者氏名 代表取締役：根上 洋平  
3) 所在地 静岡県裾野市伊豆島田559  
4) 事業内容 金属加工（各種金型の設計・製作・プレス加工）  
5) 従業員数 10名  
6) 環境管理責任者 山田 工場長  
7) 連絡先 同上  
電話：055-993-2751  
FAX：055-993-6256  
メール：[kyousin-s@coral.broba.cc](mailto:kyousin-s@coral.broba.cc)

### 8) 事業の規模

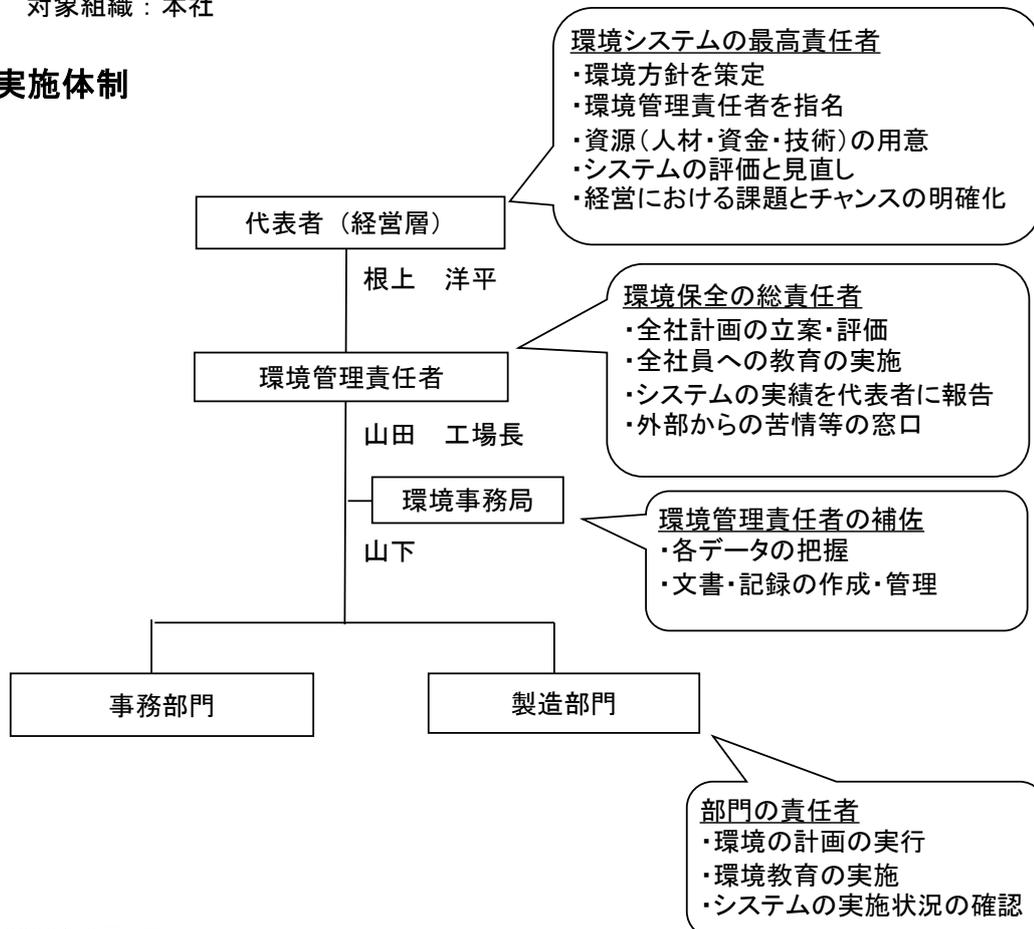
- ①設立：1988年2月4日  
②資本金：500万円  
③事業内容

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
売上高	10,540 万円	12,900 万円	10,420 万円
従業員数	11 名	10 名	10 名
延べ床面積	536㎡	536㎡	536㎡

- ④事業年度： 毎年 2月1日～翌年1月31日

- 9) 認証対象 全組織、全活動対象  
活動：金属加工（各種金型の設計・製作・プレス加工）  
対象組織：本社

## 2. 実施体制



改定：2022年3月1日

### 3. 環境経営方針

## 有限会社協伸製作所 環境経営方針

### 〔環境理念〕

当社は、霊峰富士を間近に仰ぐ静岡県東部の裾野市にあって、各種金型の設計・製作及びプレス加工を主体に行って居る金属加工企業であり、環境にやさしい活動を行い、美しい地球環境を、かけがえのない子孫の世代に引き継ぐために、地域との協調を重視し、企業発展を目指します。

### 〔基本方針〕

当社は、環境理念に基づいた環境マネジメントシステムを確立することによって、環境影響を軽減しつつ環境への取り組みを強化し、次項の実行により、継続的な改善と汚染の予防に努めます。

#### 1. 法規制等の遵守

環境関連の法規制等の要求事項を遵守致します。

#### 2. 環境影響の低減と環境への取組みの強化

重点改善項目として次項の改善に取り組めます。

- 1) 事業活動における環境負荷の軽減（二酸化炭素、廃棄物、水の削減）
- 2) 使用化学物質の適正利用管理
- 3) 環境に配慮した製造の推進
- 4) 5Sを基軸に生産性向上活動の推進

#### 3. 全社員の啓蒙活動

全社員及び当社のために働くすべての人々に環境方針を周知します。

#### 4. 環境経営方針、環境活動レポートの公開

環境活動レポートを公開し、一般の人々が入手可能とします。

制定：2017年 8月 1日

改定：2024年 2月 1日

有限会社 協伸製作所

代表取締役社長

根上 洋平

#### 4. 環境経営目標とその実績

2023年度より

東京エナジーパートナー(株)

##### 1) 環境目標と達成状況評価

令和5年度実績 調整後排出係数「0.408kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用

項目	単位	基準年度 2023年度 (2023年2月～ 2024年1月)	2023年度 (2023年2月～2024年1月) 基準年度は2021年度		2023年度 目標達成 状況評価	2024年度 (2024年2月～2025年1月)		2024年度 目標達成 状況評価			
		実績	目標	実績		目標	実績				
売上高	万円	12,900	—	12,900	—	—	10,420	—			
二酸化炭素削減	CO <sub>2</sub> 排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	20,443.38		20,443.38		18,417.67	○		
		基本年度増減	(%)	—		0.51 % ↑		9.98 % ↓	○		
	売上高100万円当たり	kg-CO <sub>2</sub> /万円	158.48		158.48		158.48		176.75	×	
		基本年度増減	(%)	—		26.55 % ↓		11.53 % ↑	×		
	電力1	kWh	30,705.00	基準年度 より1%減	30,705.00		30,705.00		28,241.00	○	
	基本年度増減	(%)	—			6.22 % ↑		8.02 % ↓	○		
	電力2	kWh	8,409.00	基準年度 より1%減	8,409.00		8,409.00		8,830.00	×	
	基本年度増減	(%)	—			7.16 % ↓		5.01 % ↑	×		
	ガソリン	ℓ	204.98	基準年度 より1%減	204.98		204.98		201.40	○	
	基本年度増減	(%)	—			121.50 % ↑		1.75 % ↓	○		
灯油	ℓ	856.16	基準年度 より1%減	856.16		856.16		1,134.72	×		
基本年度増減	(%)	—			24.20 % ↓		32.54 % ↑	×			
廃棄物削減	一般廃棄物	段ボール	t	0.14	基準年度 より1%減	0.14		0.27	×		
		基本年度増減	(%)	—			44.00 % ↓		92.86 % ↑	×	
	産業廃棄物	廃プラ・木くず等混廃	t	1.09	基準年度 より1%減	1.09		1.56	×		
		金属屑	鉄	t		2.32	2.32		2.28	○	
			真鍮								
			アルミ	t		6.19	6.19		6.12	○	
SUS											
銅板											
計		9.60		9.60		9.60		×			
基本年度増減	(%)	—		160.16 % ↑		3.75 % ↑		×			
水使用量削減	m <sup>3</sup>	116.00	現状維持 とする	116.00		116.00		128.00	×		
基本年度増減	(%)	—			1.75 % ↑		10.34 % ↑		×		
化学物質の使用		適正利用 適正管理	適正利用 適正管理				適正利用 適正管理				
グリーン調達 (RoHS)	—	規制物質使用ゼロ	規制物質使用ゼロ	0		0		0	○		

※ 廃油に関しては、2～3年に一度程度の廃棄なので、目標設定としては除きます。

2) 環境目標の達成状況と是正・予防処置

活動項目	達成状況(数値のみで見た時の評価)	区分	原因及び処置または対策		
二酸化炭素削減	C02排出量総量	○	評価	客先からの受注数が減少したため	
	C02排出量 売上高100万円 当たり	×	評価	灯油使用量が大きく影響しているが、灯油購入のタイミングもある為、必ずしも達成状況が悪いとは言えない。	
	電力1	○	評価	生産数が減少した為、工場にて使用する電力の消費は減少した。	
	電力2	×	評価	原因	猛暑により、事務所内でのエアコンの使用頻度が多くなった。
				処置 対策	扇風機等を併用し、冷気の循環を行う。クールリングや保冷剤を使用し、身体のクールダウンを図る。
	ガソリン	○	評価	取引先からの納期変更や、急な製作依頼などは、納品日程を調整し、納品回数を増やさないように対応。	
灯油	×	評価	現場での寒さ対策は石油ストーブしかない。灯油使用量が増えたが、エコ21にて灯油使用量の調査をしてきたが今年度のみが多い訳ではなく、灯油購入のタイミングなどもある為、必ずしも達成状況が悪いとは言えない。防寒着の支給などで防寒対策は行っている。		
廃棄物削減	段ボール	×	評価	客先からの支給材が、段ボールに梱包されて支給されている。段ボール置き場の溜まり具合で、取引業者に回収に来てもらうか、年末の大掃除で引き取りをお願いしている。受注の状況などで引取りのタイミングも違うので必ずしも達成状況が悪いとは言えない	
	混廃(可燃ごみ)	×	評価	2024年5月よりごみの種類別に計量を開始したが、客先からの来客予定が入り、短期間での5Sを実施。要・不要を確認し前年度までとは違うごみを廃棄したことも影響してる。分別計量は1年通して調査できなかった。2025年度は1年通して調査できるので、2025年度以降でごみの重量がどのように変化するのか調査する。	
	混廃(廃プラ・木くず)	×			
	鉄	○	評価	客先からの受注が減少。また、抜きカスを使用し無駄をなくしたことが廃棄物削減につながった。	
真鍮・アルミ SUS・銅板	○				
水使用量削減	×	評価	現状維持。基準年度より水量上昇。水洗浄する製品(2品番)の注文数が増えた。100個を投入限度で洗浄している。(300個で3回洗浄、250個でも3回洗浄している。)		
化学物質使用	○	評価	トルエン → アブゾール → NKクリーナー → A-992に切替え、A-992使用中		
グリーン調達厳守	○	評価	RoHS規制対象物質の使用は0件		

3) 次年度の目標

項目	単位	基準年度 2023年度 (2023年2月～ 2024年1月)	2025年度 (2025年2月～2026年1月)		2025年度	2026年度 (2026年2月～2027年1月)		2026年度		
		実績	目標	実績	目標達成 状況評価	目標	実績	目標達成 状況評価		
売上高	万円	12,900	—			—				
二酸化炭素削減	CO <sub>2</sub> 排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	20,443.38	基準年度より2%減		基準年度より3%減			
		基本年度増減	(%)	—						
		売上高100万円当たり	kg-CO <sub>2</sub> /万円	158.48						
		基本年度増減	(%)	—						
	電力1	kWh	30,705.00							
	基本年度増減	(%)	—							
	電力2	kWh	8,409.00							
	基本年度増減	(%)	—							
	ガソリン	ℓ	204.98							
	基本年度増減	(%)	—							
灯油	ℓ	856.16								
基本年度増減	(%)	—								
廃棄物削減	一般廃棄物	段ボール	t	0.14	基準年度より2%減		基準年度より3%減			
		基本年度増減	(%)	—						
	産業廃棄物	廃プラ・木くず等混廃	t	1.09						
		金属屑	鉄	t						2.32
			真鍮	t						6.19
			アルミ							
			SUS							
銅板										
計		9.60								
基本年度増減	(%)	—								
水使用量削減	m <sup>3</sup>	116.00	現状維持とする			現状維持とする				
基本年度増減	(%)	—								
化学物質の使用		適正利用 適正管理	適正利用 適正管理			適正利用 適正管理				
グリーン調達 (RoHS)の遵守	—	規制物質使用ゼロ	規制物質使用ゼロ			規制物質使用ゼロ				

## 5. 環境経営活動計画及び評価結果(次年度の環境活動計画を含む)

### 1) 環境活動計画と評価

主な活動手段	実施責任者	2024年度実施計画	実施状況	2024年度全体評価	2025年度実施計画
		(2024年2月翌1月)			(2025年2月翌1月)
二酸化炭素削減	毎月のデータの把握	事務局	←→	○	←→
	環境活動の注意事項掲示	事務局	←→	○	←→
	ガソリン使用量の管理	事務局	←→	○	←→
	車両の燃費算出/表示	事務局	←→	○	←→
	エコドライブ・アイドリングストップ	管理責任者	←→	○	←→
	不要な荷物は積まない	管理責任者			←→
	効率的な集配ルートの確認	管理責任者			←→
	灯油使用量の管理	事務局	←→	○	←→
	省エネ活動の社員教育	管理責任者	←→	○	←→
	ウォームビズ・クールビズ実施	管理責任者	←→	○	←→
	工程数の削減	製造部門	←→	○	←→
	機械・事務所の電灯LED化	事務局	←→	△	←→
廃棄物削減	毎月のデータの把握	事務局	←→	○	←→
	廃棄物抑制の社員教育	管理責任者	←→	○	←→
	産廃ごみの削減	管理責任者	←→	○	←→
	分別の再検討(有価物化)	製造部門	←→	○	←→
	産廃ごみの分別	管理責任者	←→	○	←→
	紙のリサイクル・ペーパーレス化	事務局	←→	○	←→
	抜カスの使用	製造部門	←→	○	←→
	金型管理	製造部門	←→	○	←→
事務作業の電子化	事務局	←→	○	←→	
使用量削減	2ヶ月毎のデータの把握	事務局	←→	○	←→
	節水の社員教育	管理責任者	←→	○	←→
	節水の表示	事務局	←→	○	←→
化学物質	SDSの入手・保管	事務局	←→	○	←→
	適正管理・適正使用	管理責任者	←→	○	←→
	代替物質の検討	管理責任者	←→	○	←→
グリーン調達	RoHSのリストアップ	事務局	←→	○	←→
	購入材料のミルシートの取得・確認	管理責任者	←→	△	←→
	取引先への対応	管理責任者	←→	○	←→
地域貢献	周辺の清掃活動参加	管理責任者	←→	△	←→
	行政/自治会行事への参加	管理責任者	←→	△	←→
生産性向上	5Sのレベルアップ	管理責任者	←→	○	←→
	多能工化の推進	管理責任者	←→	○	←→

### 2) 取組みに必要な場合の手順

- ①不具合の特定 ②年間(月間)計画を立てる ③担当者選出 ④不具合の処置を行う  
⑤処置後の評価を行う ⑥不具合があれば改善を行う ⑦半期に一度計画の進行状況確認を行う

### 3) 全体の取組みの総合評価(管理責任者)

本年度は、基準年度の見直し、データ等の収集方法の改善、また、5S活動の推進(掲示物等)など一定の評価ができた。  
達成状況等から、未達成項目もみられるが、流動的な事象(異常気象・廃棄物の一斉廃棄など)も起因していると思われる為、次年度以降の数値を中長期的に注視し対応が必要となる。

## 6. 環境関連法規への対応

1) 当社に該当する環境関連法規

遵法評価日：2025年2月3日

遵法評価の結果法規制の逸脱はありませんでした。

該当する環境法規制等	主な適用基準	該当する活動	遵法評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
	運搬、又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○
	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守 保管場所の表示	○
	県知事報告	4月1日～6月30日	○
振動規制法	規制基準値の遵守	振動の測定（自主検査）	○
	特定施設の届出	機械プレス・せん断機	○
水質汚濁防止法	排水の日常管理	排水の管理	○
	排水基準の順守		
騒音規制法	規制基準値の遵守	騒音の測定（自主検査）	○
	特定施設の届出	機械プレス・コンプレッサー	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	簡易点検の実施（3ヶ月に一度）	コンプレッサー 業務用エアコン	○
消防法	危険物の取扱作業に関して保安の監督	危険物取扱者の設置	○
	消防用設備等の点検及び報告	消化設備の点検	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	騒音基準の遵守義務	騒音の測定（自主検査）	○
	騒音特定施設の届出	金属加工機械	○
裾野市条例	ごみの分別、排出基準	分別して排出	○
明電舎グループグリーン調達基準書	RoHS指令規制	遵守	○

2) 法規への違反、訴訟等の有無

今まで前項環境関連法規への違反は一切ありません。

また、地域周辺及び関係機関等からの訴訟及び苦情等もありません。

万一あった場合は、速やかに対応します。

## 7. 緊急事態の想定及び対処

緊急事態 (想定)	近年の気候変動による洪水・猛暑・厳寒を想定とする。
--------------	---------------------------

訓練実施日	2024年6月21日に10名参加により実施した。 (実施責任者：管理責任者)
-------	---

想定内容	洪水	金型水没 プレス機水害 図面水没 電気機器の浸水 足元不安定？感電？
	猛暑	熱中症の心配 集中力がかけ事故が起きる 機械設備の故障誤作動が起きる
	厳寒	風邪やインフルエンザなどによる体調不良 寒さによる感覚麻痺での事故 脱水症 機械設備の故障誤作動が起きる

対処方法	洪水	ハザードマップにて地域の現状確認 水の侵入を防ぐために土嚢の増設 リアルタイムで天気予報確認 浸水が置きにくい場所への図面の保管・データ化・バックアップ ブレーカーオフや電源プラグを抜く
	猛暑	食事・睡眠はしっかりとる 適度な水分補給 天気予報活用 入社・退社時間の検討・実施 休憩時間の見直し 衣服調整 スポットクーラーの排出熱を屋外に出す 機械作動チェック
	厳寒	食事・睡眠はしっかりとる 適度な水分補給 天気予報活用 衣服調整 機械作動チェック

訓練を終えて	訓練をした事により、土嚢の増設や、設置場所の確認など、今まで思いはしていたが、実際に改善していなかったことや、試してみる価値があるものが判り、実行に移す良い機会となった。
--------	---

## 8. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は、次の通りである。

見直し実施日	2025年4月4日	見直し者	代表取締役 根上 洋平
社長の評価結果	<p>2024年度は8月の1ヶ月、就業時間を1時間早めるサマタイムを導入して猛暑・電力消費の抑制に努めたが数値的な効果は確認出来なかった(電力2)。前年と比較すると7~9月で大幅な増加があり特に9月の増加が著しいのでサマタイム期間の再考も検討すべき点である。サマタイムにより僅かながら肉体面での負担軽減には繋がったと考えられる。また電力1の増減は設備稼働率(仕事量)に比例するため売上減(受注減)→総量減は必然ではあるが、2024年6月初に研磨機の入替をした事で金型保守(平面研磨機使用)の機会が増えた事もあり、今後電力使用量は増加する可能性はある。ただ必要な作業をせず抑えられていた使用量のためこれに関する増加は許容されるものとする。ガソリン使用量の減少は現場・事務方、全社での努力の成果であり評価出来る。受注状況が結果に大きく影響を及ぼす事は明らかであるが使用量や排出量を減らす事、スクラップのリサイクル率を向上させる事など意識し削減する努力を継続して欲しい。</p>		
環境方針、目標、計画等の変更の必要性の判断	<p>大幅な目標実施体制は変更なしと判断する。</p> <p>客先からの情報によると2025年度は受注が回復し、前年度と比較すると稼働時間や材料使用量の増加が予想される。稼働時間の増加は電力使用量の増加に直結するため、小まめな消灯、不使用時のモータ停止、LEDや省電力の装置・設備などの導入など直接的な方法だけでなく、時間当たり・日当りの生産量を高める事で電力使用時間を抑えると言った視点でもアプローチが必要であるとする。</p>		
環境管理責任者への必要な指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 法規制の遵守</li> <li>② BCP対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 防災マニュアルの作成</li> <li>※ 防災用品、備蓄品の調達・管理</li> </ul> </li> <li>③ 従業員全員への意識徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 安全作業への意識向上(安全具の使用、作業前の安全確認)</li> <li>※ 生産性向上のための改善活動 (生産性向上→LT短縮→稼働時間低減→電気使用量低減)</li> <li>※ 問題解決や改善活動への参加・協力</li> </ul> </li> <li>④ 中長期的取組(継続) <ul style="list-style-type: none"> <li>※ IT化による紙の削減、データ整理と共有</li> <li>※ 個々の理解度・スキルアップを多能工化を進めていく</li> <li>※ 省力化、省人化、自動化の検討・推進</li> </ul> </li> </ul>		

以 上